

渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について

道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（H21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（H9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。

<調査対象市町村>

本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

<実人数>

1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

<総数>

市町村の実人数の単純合計です。実人数に対して、延べ人数となっています。

※資料中の前年実績は通期の入込客数発表時の数字を使用しています。

1. 概況

平成27年度上期（4月～9月、以下同様）の渡島管内観光入込客数の総数は、約697万7千人で、前年同期から約13万6千人の増加、前年比102.0%となり、平成23年の東日本大震災以降で最高の記録となりました。

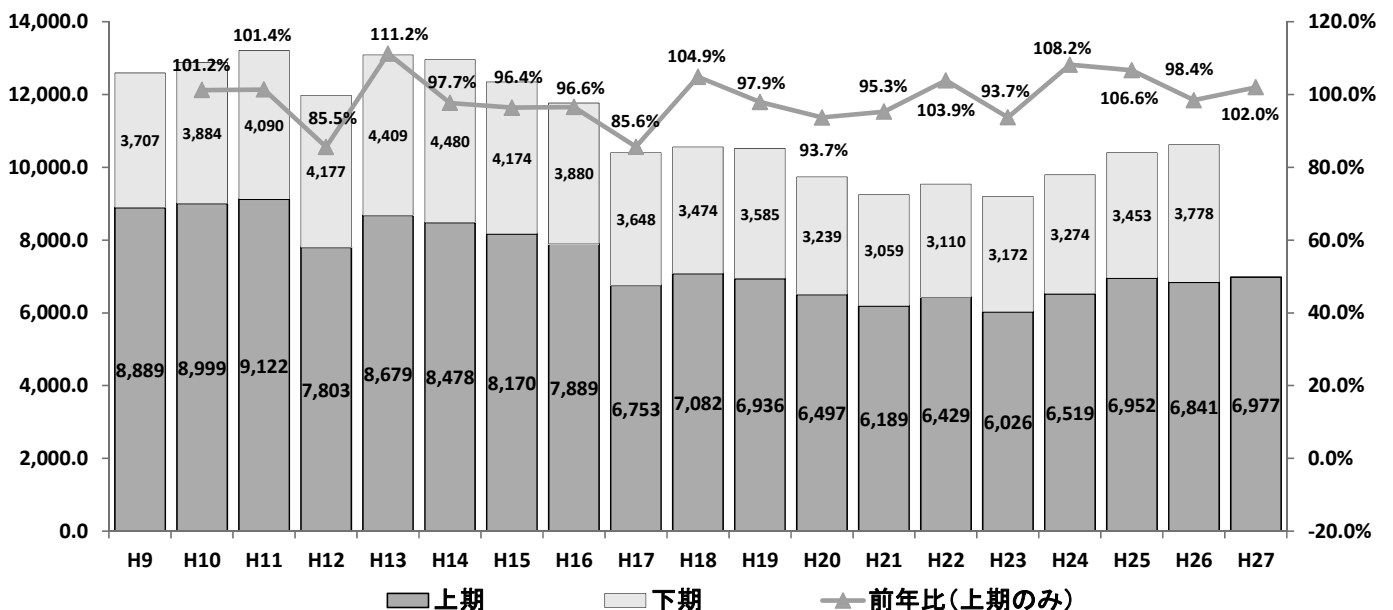
増加の主な要因としては、函館市の「函館アリーナ」がオープンし各種イベントが開催されたことや、北斗市の「きじひき高原パノラマ眺望台」がオープンしたこと等が挙げられます。また函館空港に中国の天津、北京からの国際定期便が就航したこと等により、外国人観光客の入込が引き続き好調だったことも管内全体の数字を押し上げる要因となったと推測されます。

一方で道南地域の桜の開花時期がゴールデンウィーク前あたり、花見目的の観光客が減少したことで、一部の町では前年割れの結果となりました。

(単位:千人)

	平成26年上期	平成27年上期	前年差	前年比
入込客総数	6,841.0	6,977.0	+136.0	102.0%

【入込客総数の推移】



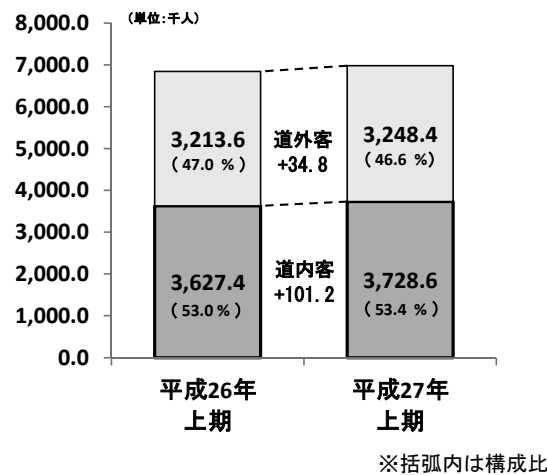
2. 「道内容：道外客」の状況

道内・道外観光客別では、道内容は約10万1千人（対前年比102.8%）、道外客は約3万5千人（対前年比101.1%）の増加となり、道内外客ともに好調な状況となっています。

（単位：千人）

		平成26年 上期	平成27年 上期	前年差	前年比	
道内：道外	実数	道内容	3,627.4	3,728.6	101.2	102.8%
		道外客	3,213.6	3,248.4	34.8	101.1%
		合計	6,841.0	6,977.0	136.0	102.0%
	構成比	道内容	53.0%	53.4%	+0.4%	-
		道外客	47.0%	46.6%	▲0.4%	-
		合計	100.0%	100.0%	+0.0%	-

【道内容：道外客の増減】

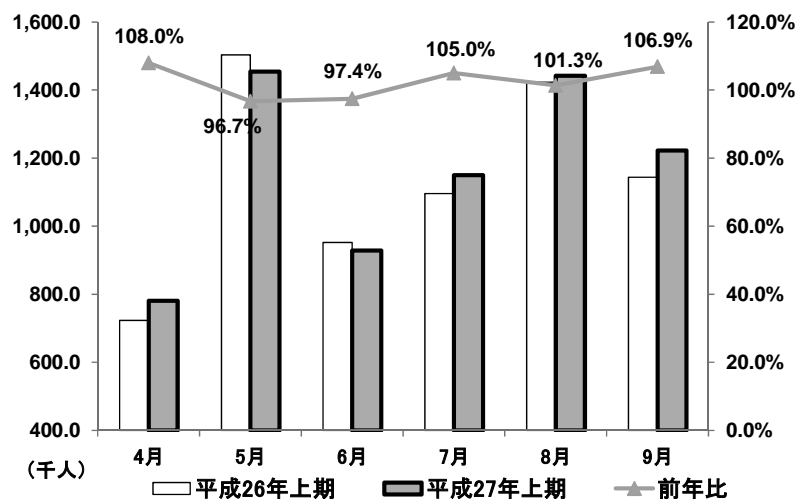


3. 入込客数の月別推移

5・6月以外の月で前年同月より観光入込客数が増加となりました。5月は桜の開花時期がゴールデンウィークから外れ、花見客が減少したことが減の要因と推測されます。

（単位：千人）

月	平成26年上期	平成27年上期	前年差	前年比
4月	723.0	780.5	+57.5	108.0%
5月	1,503.4	1,453.9	▲49.5	96.7%
6月	952.5	928.1	▲24.4	97.4%
7月	1,095.7	1,150.2	+54.5	105.0%
8月	1,422.8	1,442.0	+19.2	101.3%
9月	1,143.6	1,222.3	+78.7	106.9%
上期計	6,841.0	6,977.0	+136.0	102.0%



4. 市町別入込状況

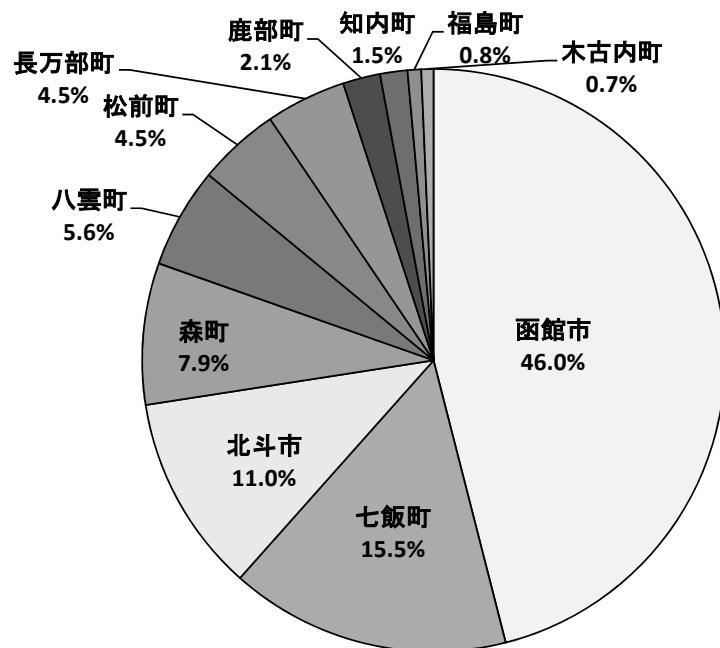
(単位：千人)

	平成26年 上期	平成27年 上期	前年差	前年比
函館市	3,162.3	3,210.6	48.3	101.5%
七飯町	1,113.8	1,084.5	▲29.3	97.4%
北斗市	558.0	766.6	208.6	137.4%
森町	540.0	547.8	7.8	101.4%
八雲町	389.2	389.3	0.1	100.0%
松前町	438.7	317.0	▲121.7	72.3%
長万部町	309.2	311.0	1.8	100.6%
鹿部町	130.7	144.5	13.8	110.6%
知内町	99.9	106.0	6.1	106.1%
福島町	52.7	52.9	0.2	100.4%
木古内町	46.5	46.8	0.3	100.6%
管内計	6,841.0	6,977.0	136.0	102.0%

5. 管内市町構成比

	平成26年 上期	平成27年 上期	前年差
函館市	46.2%	46.0%	▲0.2%
七飯町	16.3%	15.5%	▲0.7%
北斗市	8.2%	11.0%	+2.8%
森町	7.9%	7.9%	▲0.0%
八雲町	5.7%	5.6%	▲0.1%
松前町	6.4%	4.5%	▲1.9%
長万部町	4.5%	4.5%	▲0.1%
鹿部町	1.9%	2.1%	+0.2%
知内町	1.5%	1.5%	+0.1%
福島町	0.8%	0.8%	▲0.0%
木古内町	0.7%	0.7%	▲0.0%

【市町構成比】



平成27年度上期 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位:千人)

	入込総数		内訳								主な増減要因
			(道外客)		(道内客)		(日帰客)		(宿泊客)		
	H27	前年比	H27	前年比	H27	前年比	H27	前年比	H27	前年比	
函館市	3,210.6	101.5%	2,044.6	102.4%	1,166.0	100.0%	1,227.6	99.2%	1,983.0	103.0%	7月に「函館アリーナ」がオープンし各種イベントが開催されたことや、8月に「函館フットボールパーク」がオープンしたことで国内観光客が増加。また国際定期便の就航などで、引き続き外国人観光客が好調であった。
北斗市	766.6	137.4%	23.5	101.3%	743.1	138.9%	752.0	138.7%	14.6	91.3%	多くの観光施設で前年度を越える入込数となった。特に「きじひき高原パノラマ眺望台」のオープンと、「郷土資料館」のリニューアルオープンにより、同地点の観光客が大幅に増となった。
松前町	317.0	72.3%	66.6	72.4%	250.4	72.2%	274.6	69.3%	42.4	100.0%	全国的な暖気の影響により桜の開花が早まり、GWの連休と花見時期がずれたことにより、桜の名所である松前公園の入込が減少した。
福島町	52.9	100.4%	4.9	102.1%	48.0	100.2%	51.3	100.4%	1.6	100.0%	相撲人気の再燃により、「横綱記念館」の来館者及び相撲大会への参加者が増加したものの、8月の「イカまつり」の入込数が減少したため、全体としては前年度並みの入込総数となった。
知内町	106.0	106.1%	43.1	105.9%	62.9	106.3%	95.8	105.9%	10.2	108.5%	北海道電力知内発電所の2号機点検による作業員の増により、「こもれび温泉」の利用客が増加したことに加え、一般観光客の入込も増となった。
木古内町	46.8	100.6%	6.0	206.9%	40.8	93.6%	44.4	100.7%	2.4	100.0%	前年度はJR江差線の廃線に伴う入込客数の増があったため、今年度は反動減となったが、北海道新幹線開業イベント開催による集客により、全体では前年度並みの入込客数となった。
七飯町	1,084.5	97.4%	775.1	100.4%	309.4	90.5%	1,029.7	97.7%	54.8	91.6%	7月の函館～北京間の定期便就航等の影響で、外国人観光客は大幅な増加となったものの、道内客を中心に国内観光客が減少したことで、全体としては前年から微減となった。
鹿部町	144.5	110.6%	11.6	154.7%	132.9	107.9%	130.6	108.2%	13.9	139.0%	「2015北海道スカイスポーツフェア イン 鹿部」の開催や、定期便就航により増加した中国人観光客向けのバスツアーが好調に推移したことにより、全体で大幅増となった。また「みなみ北海道鹿部ロイヤルホテル」で、改装中だった一部客室が営業を再開したことにより、宿泊客数が増加した。
森町	547.8	101.4%	52.8	90.1%	495.0	102.8%	510.7	102.4%	37.1	90.3%	町の「合併10周年イベント」の開催や外国人観光客増加の影響により、全体でも前年度を超えた。一方外国人観光客の宿泊客数は増加したものの、道外からの宿泊客数が減少したため、宿泊客数全体では前年から減となった。
八雲町	389.3	100.0%	116.5	103.8%	272.8	98.5%	375.0	99.9%	14.3	104.4%	前年度、八雲地域でオープンした八雲町情報交流物産館「丘の駅」や「郷土資料館・木彫り熊資料館」等が、各種メディアで取り上げられたことで各施設の利用者が増加したものの、熊石地域の温泉宿泊施設の利用やイベント誘客で伸び悩み、八雲町全体としては前年並みの入込客数となった。
長万部町	311.0	100.6%	103.7	100.5%	207.3	100.6%	300.4	100.5%	10.6	102.9%	外国人観光客の増加により、全体では前年比微増となった。